

有害鳥獣の秋期予察捕獲



「パン、パーン」静かな空に響く乾いた音。毎年恒例の農作物有害鳥獣予察捕獲の出来事だ。岩沼市では、農作物有害鳥獣対策協議会が、春と秋の2回予察捕獲を行い、鳥獣に農作物を荒らされないように努めている。今年も9月11日に秋期分を行った。

実施隊の隊員が放つ猟銃が鳴り響き、鳥が田んぼにうづくまる。狙うのは、稲穂を食べるカラスなどである。

隊員は10名で、3班に分かれ、朝早くから市内を回った。市内は、ほ場整備が進み大区画の田んぼが増えたため、鳥などに近づくのが困難になってきている。命中させるのが容易ではないが、そこは、経験と腕でカバーしている。

市の担当者は、「被害が年々増加傾向にあるので、回数や人員を増やすなど今後検討しなければならない。この事業は隊員の皆様の協力なくしては実施できない。心から感謝している」と話し、労をねぎらう。

